

平成18年度評価対象個別研究課題の評価結果一覧

事後評価対象課題	研究計画、実施方法、体制等の妥当性			目標達成度	
	1	2	3	1	2
ゴミゼロ型・資源循環型技術に関する研究	1	★★★★	3	1	★★★★★
研究期間 平成13年度～平成17年度	2	★★★★	3	2	★★★★★
プロジェクトリーダー 港湾研究部長 斎藤 純	3	★★★★	4	3	★★
走行支援道路システム研究開発の総合的な推進	1	★★★★★	3	1	★★
研究期間 平成13年度～平成17年度	2	★★★★★	3	2	★★★★★
プロジェクトリーダー 高度情報化研究センター 高度道路交通システム研究室長 平井	3	★★★★★	4	3	★★★★★
健全な水循環系・流砂系の構築に関する研究	1	★★★★★	3	1	★★★★★
研究期間 平成13年度～平成17年度	2	★★★★★	3	2	★★★★★
プロジェクトリーダー 危機管理技術研究センター長 綱木亮介	3	★★★★★	4	3	★★★★★
都市地域の社会基盤・施設の防災性能評価・災害軽減技術の開発	1	★	3	1	★★★★★
研究期間 平成13年度～平成17年度	2	★★★★★	3	2	★★★★★
プロジェクトリーダー 危機管理技術研究センター長 綱木亮介	3	★★★★★	4	3	★★
東アジアの航空ネットワークの将来展開に対応した空港整備手法に関する研究	1	★★	3	1	★★★★★
研究期間 平成14年度～平成17年度	2	★★★★★	3	2	★★★★★
プロジェクトリーダー 空港研究部空港計画研究室長 田所篤博	3	★★★★★	4	3	★★★★★
水域における化学物質リスクの総合管理に関する研究	1	★★★★	3	1	★
研究期間 平成15年度～平成17年度	2	★★★★	3	2	★★★★★
プロジェクトリーダー 下水道研究部長 田中修司	3	★★★★	4	3	★★★★★
地球規模水循環変動に対応する水管理技術に関する研究	1	★★★★★	3	1	★★★★★
研究期間 平成15年度～平成17年度	2	★★★★★	3	2	★★
プロジェクトリーダー 河川研究部長 大平一典	3	★★★★★	4	3	★★★★★
かしこい建築・住まいの実現のための建築技術体系に関する研究	1	★★★★★	3	1	★★
研究期間 平成15年度～平成17年度	2	★★★★★	3	2	★★★★★
プロジェクトリーダー 建築研究部長 平野吉信	3	★★★★★	4	3	★★★★★
社会資本整備における合意形成手法の高度化に関する研究	1	★★★★★	3	1	★
研究期間 平成16年度～平成17年度	2	★★★★★	3	2	★★★★★
プロジェクトリーダー 総合技術政策研究センター 建設マネジメント研究官 濱田俊一	3	★★★★★	4	3	★★★★★
土壌・地下水汚染が水域に及ぼす影響に関する研究	1	★★★★	3	1	★
研究期間 平成16年度～平成17年度	2	★★★★	3	2	★★★★★
プロジェクトリーダー 環境研究部長 福田晴耕	3	★★★★	4	3	★

事前評価対象課題	実施の妥当性	一評価指標一
避難意思決定要因に基づく海岸災害からの避難促進に関する研究	○	【事後評価】 研究の実施方法、体勢等の妥当性 1:適切であった 2:概ね適切であった 3:やや適切でなかった 4:適切でなかった 目標達成度 1:目標を十分達成できた 2:概ね目標を達成できた 3:あまり目標を達成できなかった 4:目標を達成できなかった
大規模災害時の交通ネットワーク機能の維持と産業界の事業継続計画	○	【事前評価】 実施の妥当性 ○:重点的に実施すべき △:一部検討を要するが実施すべき ×:実施すべきでない
建築物の構造安全性能検証法の適用基準の合理化に関する研究	○	※事前評価では指標を用いないが、実施の妥当性について、総合評価結果の内容をよく表す評価指標を、事務局で設定した。
建物用途規制の性能基準に関する研究	○	
都市整備事業に対するベンチマーク手法適用方策に関する研究	○	
地方振興を目指した空港利用の地域間連携及び空港ターミナルの交通連結機能の高度化に関する研究(予算化されず)	○	
国土保全のための総合的な土砂管理手法に関する研究	○	
低頻度メガリスク型の沿岸域災害に対する多様な効用を持つ対策の評価に関する研究(既存研究の内容拡充)型	○	